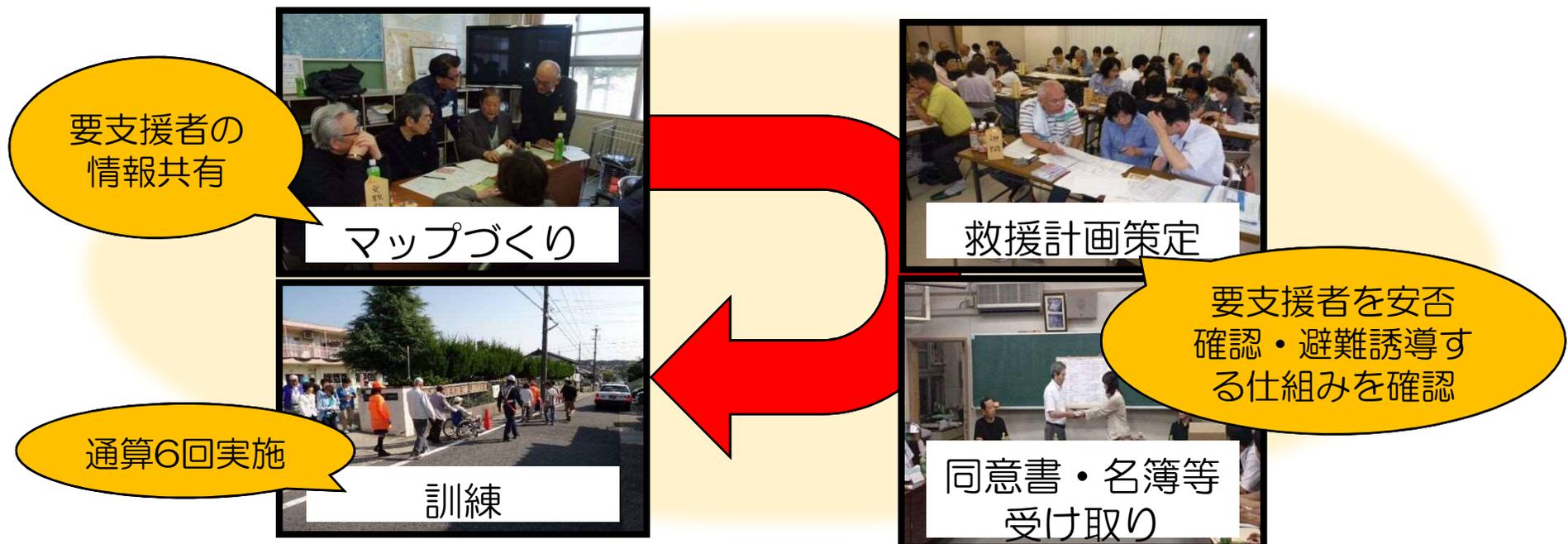


めいとう総合見守り支援事業の推進

猪子石学区連絡協議会

- ▶ 名東区では、「避難行動要支援者の平常時の見守り」と「災害時の安否確認等」を一体化させた「めいとう総合見守り支援事業」を実施
- ▶ 当該学区においては、事業が開始された平成25年度より独自に安否確認訓練や名簿情報の確認・更新を継続して実施

■ 猪子石学区の取り組みの概要



段ボールベッドの寄贈 株式会社OMK

- ▶ 避難所運営において、速やかに要配慮者対応を行うことができるよう、段ボールベッドを約500台を寄贈（累計1,000台寄贈予定）



👉保温性があるので温かく、床で寝るよりも寝起きがしやすいというメリットがある

寄贈式の様子



- 平成31年2月15日に段ボールベッドの寄贈式を実施
- 同年3月5日には、災害時において段ボールベッドの供給協力をする協定を締結

家具転倒防止ボランティア活動の推進

家具転倒防止ボラ緑

- ▶ 名古屋市の推進する家具転倒防止ボランティア活動において、平成27年度から平成30年度までの4年間で、374世帯に対し支援を実施
- ▶ 他の区のボランティアの育成にも力を入れており、指導役として名古屋市全体の家具転倒防止対策の知識及び技術の向上に努める

活動の様子



📷家具転倒防止ボラ緑
メンバー



📷家具転倒防止希望宅での
活動



📷家具転倒防止対策
施工後

陸閘門開閉操作の協力及び操作訓練の実施

正色学区連絡協議会

- ▶ 県からの指示に基づき名古屋市が開閉する陸閘門の操作を、市内で唯一地域住民が行っており、現在では学区が自主的に状況判断し、市・区と連携・調整をした上で開閉操作を実施
- ▶ 正色学区主導による陸閘門の点検及び操作訓練を20年以上前から自主的に実施

訓練の様子



陸閘門とは

道路上に設けてある、堤防の役割を果たす開閉可能な門扉



ブロック塀点検の周知活動への協力

橋学区連絡協議会

橋消防団

- ▶ 名古屋市では平成30年度に「ブロック塀等の撤去助成制度」及び「ブロック塀の点検のチェックポイント」の周知活動を実施
- ▶ 当該学区では独自に学区内のブロック塀等について危険度調査を実施の上、調査報告書を作成し、この調査報告書により、よりきめ細やかな周知活動を実施



令和元年6月18日 NHK『まるっと！』で紹介されました！

道路啓開合同訓練への協力

一般社団法人 名古屋建設業協会

- ▶ 平成7年11月に本市と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結
- ▶ 平成28年度から各区において道路啓開合同訓練を実施する中で、人員や資機材を提供
- ▶ 平成30年度からは、本市職員や関係機関向けの道路啓開に関する講演会に協力

訓練及び講演会の様子



全町内会を対象とした安否確認体制の構築

南陽学区連絡協議会

- ▶ 港区では、迅速な津波避難のため、安否確認体制の構築を特に推進
- ▶ 当該学区においては、学区内の全町内会を対象に、町内の組単位で安否確認・避難支援ができる体制を構築するとともに安否確認訓練を実施

訓練の様子



事後アンケートの結果

- ☞きちんと組長さんが事前周知してくれてのでしっかりできた
- ☞日頃からの付き合いやコミュニケーションが大切で、特に隣同士の互助が重要と感じた
- ☞防災はまず自分の意識からだと学んだ



防災意識啓発に繋がった

地域ぐるみの感震ブレーカーの設置推進 呼続学区協議会

- ▶ 名古屋市の感震ブレーカー助成事業において、当該学区協議会が主体となり、学区内の感震ブレーカー設置希望者の募集、助成申請書類の作成・とりまとめ及び学区独自の助成金の上乗せ等を実施
- ▶ 地域ぐるみで事業を推進することで、平成30年度には69件、令和元年度には84件の感震ブレーカーの設置を実施

取り組みの様子



📷呼続学区協議会



📷設置風景



📷後付高機能型感震ブレーカー